

偶々 大行天皇崩御ノ旨ニ先々女氏一般ノ音曲ヲ達啓  
シ候シ故當年中減少シ要ク年月十日ヲ二十五日迄休業スル迄期  
シ生産物限リ方格ノ備忘ニ記ス

是ニ休業中職工ニ付シテハ以本リノ控除シ實際ノ勤務日ニ相  
當スル十日ト半日トク左記額ニ以テ日給ヲ支給シテハ職工等  
既ニ全社經營ノ事情ク豫察シ何事ノ不事トモナラズ

日給 一月以下 職工ニ付シテハ 十八日五十八

〇 一月三十日以下 職工ニ付シテハ 二十五日

〇 一月三十日以下 職工ニ付シテハ 日給全額

今社ノ取組ニ上ノ方格ナリハ一時是ノ東支援助ヲ觀測シテハカキ  
十日未満者社ノ備忘セテ是ノ支那考テ今社(支那考)ニ  
古段、新支那、古連、古球)ニ依リ年月ノ節制ニ比シ故當年中  
五分ノ二減シ盡小異支東挽回見込ニ至テ是ノ依リ川崎工場

ノ要ニ本月廿四日ヨリ左職工二七九名中 一〇名(男五名、女五名)を  
ニ付シ先崎工場ナリ 尚、如キ休業期間知事ク各職工自覚  
至送ニ付

茲ノ孔ノ日中労働協同盟決意ナリ 職令存シ候ニ今般ノ主  
ニ「職令存」ノ協同、其後ノ主事 徳永正報、近藤武等  
精加 協同海ニ至ル

嘆息ノ次

一、臨時休業者ニ月々候ニ付テハ新勤日数(日曜休む除外) 日曜  
二十日ト看做シ日給一四日指職工ニ付シテハ二十日以上ノ  
ノ支給スル

二、日給一四以上ノ職工ニ付シテハ前記左様ノ着候シニ七四五  
ノ支給スル

三、一、休業中ノ者ノ職工ニ付シテハ前記左様ノ要ニ五日ノ為十四